

2020年10月21日  
日本生命保険相互会社

世界銀行（国際復興開発銀行）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド  
への投資について

～グローバルな健康社会の実現に向けた栄養問題への取り組み支援～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行、International Bank for Reconstruction and Development、以下「IBRD」）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（以下「当債券」）に1.5億豪ドル（約114億円）投資しました。

当債券は、栄養問題を重要なテーマとして発行される世界銀行グループで初めての債券となり、当社としても初めての投資となります。

IBRDは1945年に設立された単一機関としては世界最大の国際開発金融機関です。中所得国および信用力のある貧困国に対し、融資や保証、分析・助言サービスなどを提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。

グローバルに深刻化している栄養問題（低栄養および肥満問題）は、途上国における乳幼児の死亡率や成人後の貧困率の高さ、保健医療コストの増大を通じ、各国の経済や人的資本に多大な影響を及ぼしており、IBRDではこれらの栄養問題の解決に取り組んでいます。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大により、食料のサプライチェーンの寸断や、感染時の重症化リスクの上昇も指摘されており、一層の対応が必要となっています。

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資するESG投融資を積極的に実施しており、SDGsの達成に貢献する当債券への投資もその一つと位置付けています。

また、当社は、中期経営計画「全・進<sup>ぜん</sup>-next stage-」において、「人生100年時代をリードする日本生命グループに成る」ことをスローガンに掲げ、従来の保険の域を超えた「保険+α」の価値を提供することを目指し、ヘルスケア領域にも積極的に取り組んでいます。当債券への投資は、栄養問題への取り組みを後押しできることから、こうした当社の取り組みとも合致するものです。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、ESG投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

<栄養問題とは>

栄養問題とは、低栄養と肥満の2つの問題を内包する世界的な課題です。

低栄養は、乳幼児の死亡率を大きく高めるうえ、将来的な学習能力や所得の低下、貧困からの脱却、ひいては、経済全体にも悪影響を与えるとされています。推計では、慢性的な低栄養状態の指標である発育阻害を減らすことにより、アジア・アフリカ地域の GDP が4~11%増加すると考えられています\*。

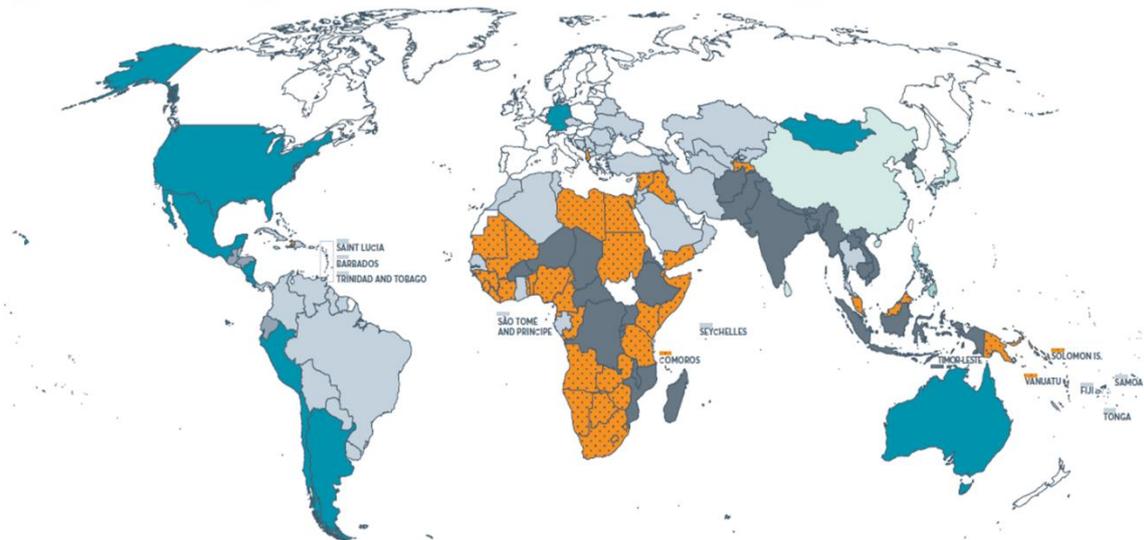
※出典：An Investment Framework for Nutrition 2017

肥満は、高所得国のみではなく、低・中所得国においても、栄養価の低い加工食品が非加工食品よりも安価であることなどを理由とした不健康な食生活によって、急速に増加しています。肥満状態の人口の大多数（70%以上）は低・中所得国にいとされ、全ての国にとって大きな懸念となりつつあります。

IBRDは、こうした栄養問題に対処すべく、政策立案やプログラムの設計などの技術支援、栄養介入策の拡充などを通じた途上国政府の支援に加え、食料を入手できない家庭に対する栄養価の高い食料の配布、低栄養状態の子どもの特定の強化などを行っています。

■世界における栄養問題の状況

- データ不足
- 貧血のみ
- 肥満（過体重）と貧血
- 貧血と発育阻害
- 肥満（過体重）のみ
- 発育阻害のみ
- 肥満（過体重）と発育阻害
- 肥満（過体重）と貧血と発育阻害



出典：2018 Global Nutrition Report

<栄養問題にかかわるプロジェクト例>

### インド：国家栄養ミッション

#### IBRD 融資額：2 億米ドル

インドでは、5 歳以下人口の 38%が慢性的に低栄養状態にあり、そのことが健康のみならず、学習能力や成人期の仕事における生産性に対しても悪影響を与えています。こうした状況を改善するため、インド政府は 2018 年に「国家栄養ミッション」を打ち出しました。発育阻害の子どもの割合を 2022 年までに 25%以内に抑え、女性の貧血を年間 3%、低体重児を年間 2%減少させることを目標としています。



© World Bank

IBRD は、インド政府が進める 3 歳未満の子どもの栄養問題を改善するために総合的なサービスを行う施設の充実化や栄養問題に関する意識啓発活動などに対し、財政的および技術的支援を行い、「国家栄養ミッション」の達成に貢献しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大下においては、人同士の接触を極力減らした形での食料配給や、新型コロナウイルスの感染予防・栄養問題に関する情報発信などの取り組みへの支援を行っています。

### ペルー：人的資本 (Human Capital) への投資プロジェクト

#### IBRD 融資額：5,000 万米ドル

ペルーでは、小規模農家などの貧困層を中心に、乳幼児の貧血症などの低栄養問題が社会的課題となっており、子どもたちの健康的な成長、ひいては未来の労働力（人的資本）確保の妨げとなっています。こうした状況を改善するため、ペルー政府は貧血症対策のためのプログラムを含む社会事業サービスや乳幼児発達支援を推進するプロジェクトに取り組んでいます。



IBRD は、ペルー政府が進める貧血症対策をはじめとする栄養問題の改善に向けた意識啓発活動や乳幼児育成のための保育サービスの提供などに対し、財政的および技術的支援を行い、ペルー政府が推進するプロジェクトの達成に貢献しています。

© World Bank

※上記プロジェクトは、事例の紹介を目的としており、当債券の活用を上記プロジェクトまたはその分野に限定するものではありません。

<今回の案件と関係の深い SDGs 目標>

**目標1：貧困をなくそう**

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



**目標2：飢餓をゼロに**

飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



**目標3：すべての人に健康と福祉を**

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



以 上